

あまくさ



天草剣道連盟広報係 令和7年2月発行

新年挨拶 天草剣道連盟会長 平田光二

天草剣道連盟会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年は、コロナウィルスが落ち着いてきたと思っていたら、インフルエンザが流行し始め相変わらず感染症の猛威が続いています。

昨年を振り返りますと、9月の熊本県民体育大会では過去最高位に並ぶ準優勝という成績だった事が一番に挙げられます。選手の皆さんはもとより、サポートしてくださった関係者や応援して頂いた多くの観客の皆さん、又、子供達にも勇気と感動を与えてもらった出来事だったと思います。



昨年は、近年稀にみる猛暑日(最高気温35度以上)が続き、気象庁の資料によると猛暑日がR3年4日、R4年11日、R5年14日、R6年41日と年々増えており、剣道の稽古時の熱中症対策が急務となっている状況でした。そのような中、昨年12月に天草市武道館や牛深総合体育館(武道館も含む)に冷房設備の設置が天草市議会で承認され、天草武道館においては7月迄に設置される見通しとなりました。これもひとえに、関係各位のご尽力によるものと深く感謝しお礼を申し上げます。上天草市においては、松島町アロマの武道場には未だ冷房設置されていませんので、今後も継続的に設置依頼を続けていくことが必要だと思います。

天草剣道連盟主催の行事では、春季・秋季剣道大会や昇級・昇段審査が通常通り実施出来ました。今後の課題としては、受験者が偏らないようにする事も必要だと思います。昨年は、久しぶりに「天草・宇城・島原三地区対抗剣道大会」が天草で開催となり、令和5年度に続き6年度も総合優勝(一般の部優勝・学生の部優勝)し非常に実り多い年だったと思います。

近年、全国的に少子化の影響で剣道人口の減少が続き、熊本県内を見ても、熊本市剣道連盟を除く各地区で小・中・高校生の競技人口の減少が続いていると聞いています。そのような中、昨年11月24日(日)に天草地区内の道場で、「剣道体験会」を実施。約50名の体験希望者が訪れ、その中で5名の初心者(小学校低学年・保育園児)が入部したとの報告を受けています。剣道入部希望者は、従来剣道経験者の子供や、その関係の人が口コミで入部するケースが殆どでしたが、今回の取組は賛否両論あると思いますが、指導者と保護者との連携による熱量の高さを感じました。

当連盟では、昨年開催し好評だった女性剣士の競技力向上と親睦を図ることを目的に女性だけに特化した「女子剣道講習会」を今年も2月15日(土)に実施しました。本講習会は、昨年に引続きの開催で、前回同様熊本県剣道連盟の協力の元、熊本県女子剣道愛好会の三嶋熊本県剣道連盟副会長や令和5年度全日本女子剣道大会覇者：渡邊タイ選手ら8名が来場され、前回(49名)を大きく上回る84名と、沢山の一般も含めた女子選手の参加があり、盛会裏に開催できました。次年度以降も計画していきたいと思っております。

結びに、毎年申し上げていますが、5年10年後の将来を見据えた剣道人口拡大に向け

- ① 「仲良く、楽しく学ぶ」指導の推奨と少年・少女の剣道普及
- ② 不適切な指導の根絶
- ③ 地区会員の積極的な中央伝達講習会等への参加

を目指して全会員一丸となって進んでいきたいと思っております。

会員の皆様が今年1年素晴らしい年となりますようにお祈り申し上げ新年の挨拶と致します。

□ 令和6年度天草秋季剣道大会

令和6年10月20日(日)稜南中学校体育館を会場に天草秋季剣道大会が開催され、熱戦が繰り広げられました。結果は以下の通りです。おめでとうございます。

学年	優勝	優秀選手賞	2位	3位	3位
小学4年以下	牛深少年剣道ク	田苗瑠奈	楠浦剣友会A	天武館A	栖本少年剣道クA
小学5・6年	栖本少年剣道クA	鶴浜結衣	楠浦剣友会A	鍛錬会	上天草剣道クラブ
中学生	河浦剣道クラブ	森田颯真	本渡東中	鍛錬会A	本渡中A



(牛深少年剣道クラブ)



(栖本少年剣道クラブA)



(河浦剣道クラブ)

◇ (祝) 七段昇段おめでとうございます！

河浦支部 鶴本会員の昇段コメント

令和6年11月9日に愛知県で開催された剣道七段審査に合格することができました。これもひとえに、時間を作って稽古に付き合っていたいただいた先生方や、日頃から指導者として携わらせてもらっている小中学生のおかげだと、心から感謝しています。また、小中高で私に剣道の楽しさを教えてくださった大久保先生、小川先生、平川先生にも、深く感謝申し上げます。さらに、連続して審査を受けるように叱咤激励してくれた妻や子どもたちにも感謝の気持ちでいっぱいです。



今回の審査のテーマは、ありきたりかもしれませんが「最後まで集中力を切らさない」と決めました。これまでは「初太刀」を意識し過ぎるあまり、攻めが相手に伝わっていないのに合わせて打突してしまうことが多かったですが、今回は初太刀を打つことばかりに執着せず、しっかりと攻めを伝えて相手を動かすことを稽古時から意識しました。審査当日、立会の2回とも初太刀をとらえることはできませんでしたが、「最後の1秒まで集中する」と自分に言い聞かせながら臨みました。結果として、2回とも終了間際に機会をとらえた手応えのある技を2本ずつ決めることができました。

合格まで何度も挑戦しましたが、振り返ってみると、「不合格」は私にとって必要な時間だったと感じています。この経験を通じて、自分の強みや弱みを改めて認識し、自分の剣道を見つめ直す良い機会となりました。

七段に合格することができましたが、まだまだ七段の剣道には程遠いと感じています。七段に見合った剣道、そして人物となれるよう、今後も精進していく所存です。

最後になりますが、先輩や後輩たちと日々剣道ができる環境を心から感謝するとともに、近年盛り上がりを見せている天草の剣道会発展のために、微力ながら精一杯尽力していきますので、今後ともよろしく願いいたします。